

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 2725
部 名	経済部	課 名	産業振興課	課長名	下山啓二
事務事業名	工業団体育成事業				
予算上の事務事業名	工業団体育成費				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31310	
基本目標	Ⅲ「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして				
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします				
基本施策名	第3節 工業の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 人材、技術など経営資源の強化支援				平成17年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
<p>企業を継続し発展させるためには、技術や経営等に関する情報収集が不可欠である。そのため、工業団地組合や技術や経営に関する課題をテーマにして組織された団体を対象に、団体が実施する調査研究等の活動に対する事業費の一部を助成することにより、企業経営者等の育成を促進する。</p>				工業者団体	
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
<p>相模原技術交流研究会：展示会（テクニカルショウヨコハマ）に係る出展費用の一部助成          テクノパイル田名工業団地協議会：視察研修会実施に係る事業費の一部助成          近未来技術研究会：講演会実施に係る事業費の一部助成          相模原機械金属工業団地協同組合：視察研修会実施に係る事業費の一部助成          相模原市青年工業経営研究会：視察研修会実施に係る事業費の一部助成</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市では、運営費補助により事業実施を支援している。					
7 事業費の推移 <span style="float:right">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	856	772	693	2,000	2,000
一般財源	856	772	693	2,000	2,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	164	165	164	329	329
事業コスト合計	1,020	937	857	2,329	2,329
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	中小企業工業団体活動促進事業補助金			対象名称と単位	工業団体数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	693	2,329	2,329
対象数	0	0	5	10	10
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	138,600	232,900	232,900
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.68	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの					
指標名と単位	助成件数(件)	指標式と指標の説明		工業団体が実施する研修や調査研究活動に助成した件数	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	0.0	5.0		
目標	0.0	0.0	10.0	10.0	10.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	50.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	団体構成員の参加率(%)	指標式と指標の説明		工業団体を組織する構成員が事業に参加した割合	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)
実績	0.0	0.0	65.4		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	65.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		工業団体への助成については、平成16年度に見直しを行い、助成対象を運営費に対するものから、各団体が行う調査研究活動等に変更したが、工業団体を組織する構成員の経営及び技術力の向上がさらに図られるよう助成のあり方を見直す。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
当該補助金をより効果的に活用してもらうために、企画・立案の段階から関与し、事務局の運営を支援する。			工業団体が実施する研修や調査研究等への助成実行件数が少ないことから、助成のあり方を見直す必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		やる気のある団体・頑張っている団体に対し、技術及び経営の向上が図られるように効果的な支援策を推進する。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			